

令和6年度海の再生及び環境対策特別委員会管外視察の概要

- 1 視察日程 令和6年11月19日(火)～11月21日(木)
- 2 視察者 海の再生及び環境対策特別委員会委員(13名)
橋口 海平(委員長)、河津 修司(副委員長)、吉永 和世、坂田 孝志、
内野 幸喜、前田 憲秀、西山 宗孝、吉田 孝平、竹崎 和虎、荒川 知章、
亀田 英雄、幸村 香代子、高井 千歳
- 3 視察先 (1) 壱岐東部漁業協同組合
(2) 壱岐市役所(水産課、SDGs未来課)
(3) 壱岐島水素システム養殖場
(4) 美津島町漁業協同組合
(5) 対馬市役所(水産課、環境政策課)
(6) 対馬海ごみ情報センター(対馬CAPPA)
(7) 対馬クリーンセンター中部中継所
- 4 視察目的 海の再生及び環境対策に係る今後の委員会審議の参考とするため、次のとおり、視察を実施しました。

5 視察の概要

(1) 壱岐東部漁業協同組合

「壱岐東部漁業協同組合」は、離島の水産業の維持・発展させるために漁獲物のブランド化、徹底した品質管理による販売単価向上、雇用の確保に取り組んでおり、漁業者と関係者との連携状況等について意見交換を行いました。

今回、同漁協から直接お話を伺い、本県が取り組む水産資源の回復等による漁業の振興のための参考情報を広く収集することができました。



(2) 壱岐市役所(水産課、SDGs未来課)

壱岐市役所水産課では、「壱岐東部地区地域水産業再生委員会」のサワラのブランド化に係る市の取組について、SDGs未来課では、水素実用化実証試験(陸上養殖)等、市における再エネの取組についてそれぞれ調査を行いました。

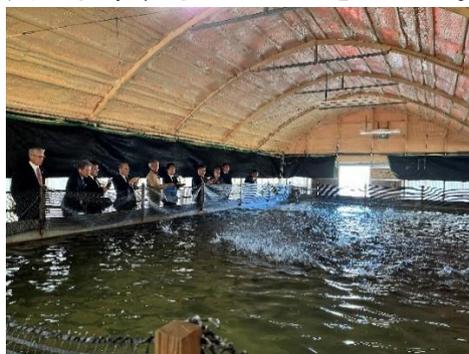
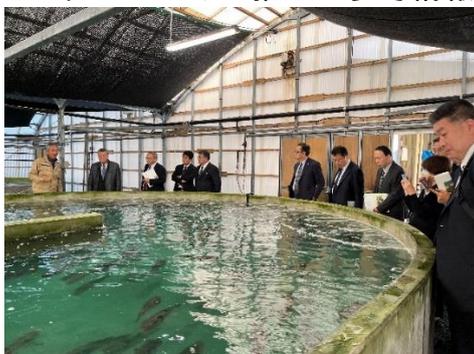
今回の視察では、本県が取り組む水産資源の回復等による漁業の振興及び再生可能エネルギー推進のための参考情報を広く収集することができました。



(3) 壱岐島水素システム養殖場

「壱岐島水素システム養殖場」は経産省の補助金を活用し、陸上養魚場のRE水素実用化実証システムによる実証試験を実施しており、本県の水素の導入可能性等について現地調査を行いました。

今回、同社から直接お話を伺い、本県が取り組む再生可能エネルギーの利用促進と省エネルギー推進の参考情報を広く収集することができました。



(4) 美津島町漁業協同組合

「美津島町漁業協同組合」は、植食性魚類を効果的に駆除する方法を確立し、食用利用の可能性を開き、持続的な藻場保全活動を推進しており、漁業者と関係者との連携状況等について調査を行いました。

今回、同漁協から直接お話を伺い、本県が取り組む水産資源の回復等による漁業の振興のための参考情報を広く収集することができました。



(5) 対馬市役所（水産課、環境政策課）

対馬市役所水産課では、「対馬地区地域水産業再生委員会」におけるイスズミの加工利用推進、藻場回復に係る対馬市の取組について、環境政策課では、一般社団法人対馬CAPPAに対する海ごみ情報センター業務の委託状況等、対馬市における漂着ごみ対策の取組についてそれぞれ調査を行いました。

今回の視察では、本県が取り組む水産資源の回復等による漁業の振興及び海洋ごみ等対策の推進に係る参考情報を広く収集することができました。



(6) 対馬海ごみ情報センター

「対馬海ごみ情報センター」は、対馬市の海ごみ対策の一環として、行政の手の届かない事務や関係する作業を担い、島内外のボランティアや民間団体を受け入れており、対馬の海ごみ対策に関する情報の集約・情報発信・情報共有の取組について調査を行いました。

今回、同センターから直接お話を伺い、本件が取り組む海洋ごみ等対策の推進に係る参考情報を広く収集することができました。



(7) 対馬クリーンセンター中部中継所

「対馬クリーンセンター中部中継所」では、回収された海ごみを集約、再資源化できるように種類や色ごとに再選別、再加工しており、循環経済モデルの実現について現地調査を行いました。

今回の視察では、本県が取り組む海洋ごみ等対策の推進に係る参考情報を広く収集することができました。

